

建設計画に係る平成29年度から30年度までの実施事業に関する意見について

地区名：塩江地区

番号	項目	意見の内容
1	保健センター等出先機関の統合	地域行政組織再編計画の目的である「市民により近いところで、幅広い行政サービスが提供できるよう機能を分散し、限りある行財政資源を有効活用して、効果的な組織」を目指すため、総合センターの開設に合わせて地域包括支援センター・保健センターの出先機関を統廃合し、窓口の一元化を図るようだが、そのメリット・デメリットについて、説明を求めます。
2	新病院附属医療施設整備事業の進捗状況	塩江分院の整備事業について、平成27年度から平成28年度現在の状況及び今後のスケジュールについて具体的な説明を求めます。
3	塩江の観光振興	高松市まちづくり戦略計画（第1期：平成28年度～30年度）の特別重点の「温泉をいかした塩江地域の観光振興事業」の塩江温泉郷活性化基本構想に基づく事業の実施について、具体的な説明を求めます。
4	公共施設のファシリティマネジメントの取組	奥の湯温泉は、「現施設は機能廃止とするが、地域の観光振興に資する施設としてのあり方を検討し、建て替え、用途変更等の対応を考える」と説明がありましたが、塩江温泉郷活性化基本構想をもとに考えるとのことですが、地域のためには早急な対策が必要であると思います。
5	栂川ダム周辺整備事業	現在実施中である栂川ダム整備事業（香川県）の促進や水源地域整備計画に基づく事業（栂川ダム関連整備）について、無駄なく長期にわたり利用できるように考えていかなくてはなりません。合併特例債を最大限に活用し、実りある整備を県にも要望をお願いします。
6	地域経済の活性化や雇用の確保、住環境の整備	塩江町は合併後に人口減少が進み、町内の商工業者も減少しており、何か施策を考えなくてはいけないと思われまます。空き地等の利用を活用して企業誘致や起業対策に早急かつ真剣に取り組まなくてはならないと思われまます。 また、市民が安心して暮らせる良好な住環境の整備を図るため、空き家等の除去に対する支援がありますが、具体的に老朽化した空き家の査定（立会いのもと）により支援が受けられるのでしょうか。また、更地になれば固定資産も倍になるから古家を壊さずに置いておくと言いましたが、行政として老朽危険空き家は、個別に指導や事務手続き等の支援を是非ともお願いします。
7	自転車道等の利用促進	塩江から香東川沿いには、県道塩江 香川 高松自転車道路（269号線）があり、また、安原地区の親水ゾーンとしてその周辺には東屋等の施設も整備されております。しかし、現状は、サイクリング自転車が国道をスピードを出して走行している光景をよく見かけ、自動車の走行の妨げにもなっています。今後は、香東川沿いに整備されている自転車道や親水ゾーンを活用し、安心・安全で、利用しやすい方法を考える必要があると思います。
8	国道193号線の歩道等の整備	国道193号線は緊急輸送道路の指定もあり、塩江小・中学校の通学路でもあります。現状は周辺の工事の遅れのため、歩道・自転車道がない所は自転車が国道にはみ出し、危険な状況であります。また、交通量も増えておりますので、一日も早く安全で安心して通学ができるように、特に学校北側出入り口付近の早急な整備促進を国や県に対して要望をお願いします。